

# 世界法学会研究大会のご案内

2012年3月23日

世界法学会2012年度研究大会を次のとおり開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

世界法学会理事長 位 田 隆 一

## 記

日 時 2012年5月13日（日） 10時～18時

場 所 龍谷大学深草学舎3号館301教室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

電話番号 075-642-1111（大会本部責任者 法学部・山田卓平教授）

交通 別紙地図・案内参照

([http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/traffic/t\\_fukakusa.html](http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_fukakusa.html))

受付 9時30分より

## 大会プログラム

統一テーマ：災害と世界法

午前の部

第1セッション：自然災害—世界法の役割—（10時～12時）

座長 人権教育啓発促進センター理事長 横 田 洋 三

報告1：自然災害と国際法の理論 東北大学教授 植 木 俊 哉

報告2：自然災害—国際機関および日本の対応—

国際連合人道問題調整事務所（UNOCHA）神戸事務所長 渡 部 正 樹

総括コメント 愛知学院大学教授 芹 田 健 太 郎

昼食・役員会（12時～14時）

午後の部

公募報告セッション（14時～15時10分）

座長 一橋大学教授 佐 藤 哲 夫

報告1：国連人道問題調整事務所の機能と組織化 杏林大学准教授 川 村 真 理

座長 慶應義塾大学教授 明 石 欽 司

報告2：17-18世紀の国際法言説の現実的文脈と国家中心主義

国際教養大学准教授 豊 田 哲 也

第二セッション：原子力災害—世界法の展望—（15時30分～17時30分）

分科会1：安全と賠償

座長 法政大学教授 森 田 章 夫

報告1：厳格・拘束的かつ普遍的な原子力安全基準の設定と実効的遵守管理に向けて  
—福島原発事故を契機としたIAEAによる取組みの現状と課題—

大阪学院大学准教授 繁 田 泰 宏

報告2：原子力損害賠償条約と日本の対応

外務省条約課長 道 井 緑 一 郎

分科会2：人権と環境

座長 名古屋大学教授 高 村 ゆ かり

報告1：原子力災害への人権の視座

神奈川大学教授 阿 部 浩 己

報告2：原子力災害と国際環境法

北海道大学教授 児 矢 野 マ リ

総会（17時30分～18時）

- 
- \*2012年度会費（4000円）は、同封の振替用紙にてお納めください。
  - \*ご希望の方には、昼食は開催校でご用意いたしますので、お申し出ください（1000円）。キャンパス周辺に食堂やレストランは多くはありません。
  - \*託児所を開設します（委託業者：NPO法人SEAN サポート部門「とんがらし」〈<http://www.npo-sean.org>〉）。託児をご希望の方は、4月30日（月）までに、①申込者（会員）の氏名・所属、②お子様の氏名（ふりがな）・性別・年齢月齢、③託児希望時間帯、④緊急連絡先電話番号、⑤その他特記事項（アレルギーの有無など）とともに、龍谷大学・山田卓平教授（[a11019@mail.ryukoku.ac.jp](mailto:a11019@mail.ryukoku.ac.jp)）までお申し込みください（なお、お預かりできるお子様は首が座っていることなどが条件です）。申し込まれた方には折り返し当日の詳細をご連絡いたします。利用される会員の方には、お子様1人あたり3000円（時間数にかかわらず）の負担金を当日お支払いいただきます。
  - \*学会名簿作成のための資料とさせていただきますので、ご出席、ご欠席いずれの場合にも、同封の返信用はがきに所要事項をご記入のうえ、4月20日（金）必着でご返送ください。なお、個人情報保護の観点から、名簿に記載されたくない項目がありましたら、該当項目の冒頭に×印をお付けください。
  - \*入会を希望される方は、事務局（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学国際協力研究科内 世界法学会事務局）宛てに、4月20日（金）必着にて入会申込書を郵送下さい。入会申込用紙は、学会ホームページ（<http://www.jawl.jp/>）からダウンロードできます。
  - \*その他、委細は学会ホームページをご覧ください。 以上